



## 「家族と一緒に楽しくエコライフ」 省エネな暮らしのヒント

Eco-footprint  
**EcoゾウさんClub**  
『EcoゾウさんClub』は、毎月の「電気」「ガス」「水道」「ゴミ」「灯油」「ガソリン」の使用量と料金を入力するだけで、お住まいの住宅のエネルギー使用量や、毎日の生活で排出する二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)量がわかります。我が家のエネルギー事情を知り、それを節約する地球とお財布にやさしいエコ生活を支援します。(会費無料)  
<http://www.ecofootprint.jp/>  
2002年スタート、2,500名の方が登録参加して、エコライフを実践されています。

エコ効果がなくて、楽しく続けられる暮らしの工夫とは何でしょうか？  
普段の何気ない生活の中で消費される電力が分かると、「どうすれば減らせるか」を考えることができ、その効果が分ければ「もっと続けてみよう」というやりがいにもつながります。  
旭化成ホームズくらしノベーション研究所と  
文化女子大学造形学部住環境学科(長山洋子教授・高橋正樹准教授)との共同研究  
「10分間測定法」から見えてきた、省エネな暮らしのヒント  
みなさんも取り組んでみませんか？

### 我が家のエネルギー事情がわかる『EcoゾウさんClub』

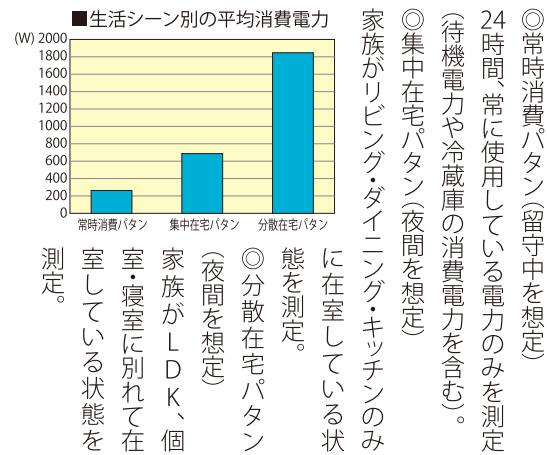
旭化成ホームズでは、ライフスタイルによって使用されるエネルギー量が大きく異なることから、ライフスタイルでもエコに関心を持つていただきたいという思いから『EcoゾウさんClub』をスタートさせました。今回は、『EcoゾウさんClub』会員向けに発行している『Ecoゾウさん通信』より、電気メーターを利用した「10分間測定法」で調査した、楽しく続けられる暮らしの工夫をご紹介します。

■10分間測定法を使った調査

- 10分後の電気メーターをデジタルカメラで撮影します。
- 電気メーターをデジタルカメラで撮影します。
- その生活シーンを、10分間続けます。
- 10分間の電気メーターをデジタルカメラで撮影します。
- 測定前後のデジタルカメラ写真でメーターの数値を比較して消費電力の差を把握します。
- 生活シーンを調査用紙に記入します。

10分間で0.05kWh

### 調査1 過ごし方の違いによる消費電力の違いを調査(冬期)



冬、家族が一緒に過ごしている時は別々の部屋で過ごす時の半分〜1/3  
オール電化住宅を除く家庭の平均消費電力は、◎常時消費パターンが267W、◎集中在宅パターンが687W、◎分散在宅パターンが1847Wでした。  
家族が、LDKに集まって過ごす時、個室・寝室などに分散している時の半分から1/3

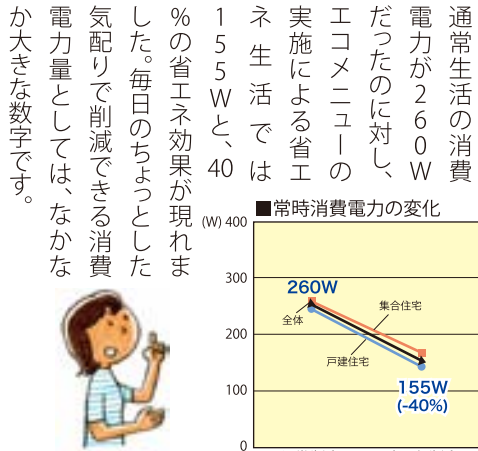
### 調査2 実施しやすい省エネ行為と省エネ効果についての調査

通常の生活と27項目のエコメニューによる生活での消費電力の差を10分間測定法で計測してみました。  
全体では「こたつのコンセントを抜く」「床暖房の主電源をオフにする」「パソコンのコンセントを抜く」が実施率100%でした。常時消費電力の削減率が大きかった人たちは実施率100%のエコメニューが数多くあり、「こまめな省エネ行為の効果が表われてくるよう」です。

■省エネ行為の実施率:削減率の大きい人

A 「コンセントを抜く」	パソコン:100% テレビ:100% ビデオ・DVD:88% こたつ:100% ホットカーペット:100% リビングのエアコン:71% 携帯電話の充電器:83% パソコン:80% 炊飯器:100% 電気ポット:100%
B 「主電源を切る」	給湯設備:100% 各個室の照明:100% 温水洗浄便座の暖房機能:100%

### 省エネ効果は常時消費電力の4割削減を実現



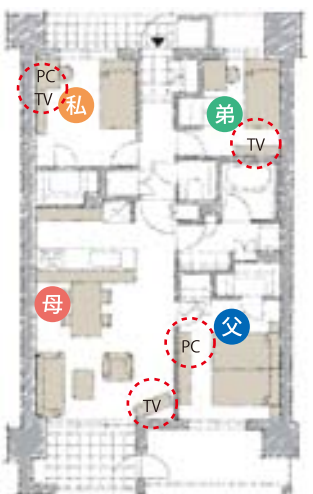
### 調査3 家族の在宅時間や居場所の違いによる消費電力量の調査

家族の居場所の違いによる消費電力量の違いはどのようでしょうか。家族のタイムスケジュールを調査し、居場所の違いによるエネルギー消費量を比較してみることになりました。  
◎集中在宅タイプ例(A家)  
18時〜24時に、父母を除く家族の平均在室率が個室よりLDKで高い場合。



#### ◎分散タイプ例(B家)

18時〜24時に、LDKより個室の方が在室率が高い、またLDKの在室率が0%の家族父母以外が1人でもいる場合。



### テレビとパソコンの所有状況とLDKと個室の在室率の違い

「集中タイプのA家」では家族揃って食事をした後に引き続き12時くらいまで、ほぼ家族全員がリビングで過ごしていました。

の消費電力で済むことが分かります。冬の調査だったことから、各部屋でそれぞれ暖房を使っていたことが、大きな差を生み出す原因になっていたと思われまます。  
**意外に大きい常時消費電力  
年間消費電力量の半分以上占める**  
常時消費電力とは、家族全員が外出・就寝中でも24時間365日消費される電力のことです。待機電力や冷蔵庫の消費電力からなります。10分間測定法で計測した常時消費電力値を、おおよそ年間の消費量に換算したところ、年間消費電力量全体の57% (オール電化住宅では41%)と意外に大きな割合を占めることがわかりました。

### テレビ・ビデオ・エアコン等の主電源や保温機能が鍵

家族の暮らし方(行動習慣)が、常時消費電力に関連しているようです。  
全てのお家で生活上OFFすることができない冷蔵庫や電話・FAXは常時ONになっています。一方、常時消費電力が大きいお宅の特徴として、生活上OFFすることができないテレビ・ビデオ・エアコンの主電源ONや、暖房便座・電気ポットなどの保温機能利用の傾向があることがわかりました。また、所有家電数に対して使用時のみコンセントを挿す機器の割合も、常時消費電力の大きさと関係が見られました。

A コンセントを抜く。  
・暖房器具  
・テレビ、パソコンなど

B 主電源を切る。  
・給湯設備  
・照明設備など

C 冬期モード・節電モードにする。  
・冷蔵庫  
・電話、FAXなど

を使わない時間に、主電源をOFFにしたりコンセントを抜くことで、常時消費電力を減らすことができます。

また家族と一緒に過ごす時間が多く、もともと年間消費電力の少ない集中タイプの方は、リビングにある「エアコン・テレビ・パソコン」で同じことを心掛ければ、効果はさらに高まります。  
また、常時消費電力量の大きい冷蔵庫の温度設定を季節で変えることも、手軽にできる上、効果の高いエコメニューです。

旭化成ホームズは、今後も家族で楽しくエコライフに取り組めるご提案を目指して、研究を続けていきたいと考えています。

### 旭化成の提案する「+NEST」 家族のコミュニケーションを深める設計手法「+NEST(プラスネスト)」は、家族がいつしよにいる安心感と暮らしやすさの提案を行っています。

**ペニンシュラキッチン**  
家族が集まりやすい「ペニンシュラキッチン」。みんなで準備や後片付けなど、自然とコミュニケーションが生まれます。

**+NEST空間**  
家族と「いつしよにいる」という安心感を育む空間。キッチンから目が届くので、ママも安心。